

生命保険の英語

三多摩支会 国際部

田村 茂

私は 30 年あまり外資系の生命保険会社に勤めました。前半はシステム企画・開発、後半は業務改革関連の仕事です。システム設計開発を担当していたころ、データ名にはほとんど英語を使いました。保険業界で使う英語は、少し専門的な用語です。そのいくつかを紹介したいと思います。

「保険」はご存じの通り、“Insurance”で、“Life Insurance”（生命保険）や“Medical Insurance”（医療保険）などに分かれます。保険商品のことを“Policy”といい、保険契約件数のことを“No of Policies”といいます。保険を契約すると、契約した人は“Policyholder”（保険契約者）となります。契約の際、通常被保険者を指定しますが、被保険者は“Insured”といいます。

保険を契約した日は“Issue Date”（契約日）ですが、保険は契約しただけでは有効になりません。第 1 回保険料を支払って初めて有効になります。保険料は“Premium”といいます。そして、保険有効日を“Paid-to-Date”（保険料が充当されている日）といい、保険金や給付金を支払えるかどうかの基準日となります。保険が成立すると、保険証券が発行されます。“Policy Issue”といいます。

会計上の「売上」に当たるのが、“Premium Income”（保険料収入）です。また、営業成績の指標としてよく使われるのが“Annualized Premium (AP)”で、保険を 1 件契約した場合、多くは月払いなので、そ

の保険料を 1 年分に換算した金額を成績の基準としています。

被保険者が亡くなったり、入院したりすると保険会社に保険の支払いを請求します。保険金請求は“claim”です。日本人は苦情のことをよく“claim”といいます。苦情は“complain”ですね。保険金支払いを処理する部門を“Claims Department”といいます。死亡保険金は“Death Benefit”。手術などで入院したときに支払われる入院給付金は“Hospitalization Benefit”です。保険金 / 給付金を受け取る人を“Beneficiary”といいます。

保険料の支払いが一定期間滞ると保険は失効“Lapse”します。再び有効にすることを復活“Reinstate”といいます。特別な手続きが必要になります。

また、保険を解約“Cancel”すると、生命保険の場合、通常、解約返戻金“Cash Surrender Value”が支払われます。

保険会社は契約者から集めた保険料を資産運用し、将来の保険金・給付金支払いに備えますが、この積立額を“Policy Reserve”（責任準備金）といい、保険会社の健全性のものさしになります。

海外で保険に入る場面があれば、これらの用語を思い出してください。

以上